

—— 会長のつぶやき ——

東参与は「ミスター医師会」 長きにわたりご指導いただきありがとうございました



鹿児島市医師会 会長 上ノ町 仁

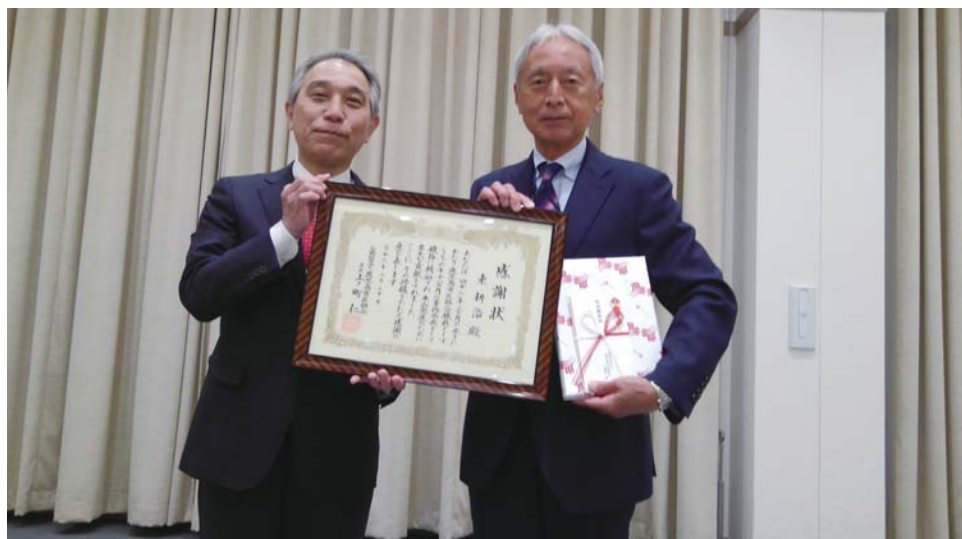
令和3年3月31日をもちまして東参与が退職されました。まずは42年余にわたり鹿児島市医師会にご勤務され、局長を経て最後は参与・会長付特命業務担当として有終の美を飾られた東氏に心より感謝申し上げます。

東氏と言えば、建設と共同利用施設担当が頭にうかびます。それは、東氏が担当として医師会病院の旧館・新館、新医師会館、新臨床検査センターの建設すべてに関わられたからです。

まず、東氏は昭和56年4月から医師会病院建設準備室のスタッフとして、構想・建設に携わり、昭和59年6月開院に至りました。当時勤務されていた先生方やスタッフの皆さんと開院当初の苦楽を共にされ、しばらくはま

るで野戦病院のようで、次々と救急車がやってきて休む間もないくらい働きどおしかったそうです。そして運営も順調でさらに会員のニーズにお応えできるよう、平成15年5月に立派な新館も建設されました。また、現在の医師会館も平成26年12月東局長（当時）の時代に、代議員会でいろいろなご意見を頂きながら建設に至りました。

また、特に東氏は臨床検査センターへの思い入れが強く、局長時代に「赤字体質からの脱却」の大命題に取り組みられました。現在経営が安定し健全な運営ができているのは、東局長（当時）の並々ならぬご尽力により、平成29年4月にエスアールエルに業務委託ができたからです。そして、現在の安定した経営形態に行き着いた大元は、臨床検査センター



感謝状交付の様子

50周年誌にも記載しておりますが、今から遡ること30年「ふたりの東」の「夢」から始まります。「ふたりの東」とは、東 耕治参与（前局長）と東 俊一様（株式会社エスアールエル代表取締役社長）です。30年前、当会の東係長とエスアールエル鹿児島営業所の東所長は、毎晩のように焼酎を酌み交わしながら、「会員や市民に役立つ検査センターの運営を医師会臨床検査センターとエスアールエルが協力してやれないか」など多くの「夢」を熱く語り合ったそうです。このふたりの運命的な出会いを契機に、まさしくその当時の「熱き想い」「夢」が時を経て「業務委託」という形で歴史的結果として成就し、今日の健全な運営とこれからの未来へつながるわけで、30年前の「ふたりの東」と、その二人の仲を取り持ってくれた「焼酎」に感謝いたします。

医師会臨床検査センターの50周年に合わせ、新臨床検査センターの建設計画が東参与

（当時）を会長付特命業務担当として令和元年に始まりました。医師会館1階駐車場の仮設臨床検査センターで営業を継続し、旧検査センターを解体した後新検査センターの建設が始まり、令和2年12月に落成、令和3年1月4日から稼働し始めました。

このように東氏といえば、医師会に関する全ての建設と共同利用施設担当にご尽力され、東氏がいなければ現在の医師会はないといっても過言ではなく、まさに「ミスター医師会」であります。その「ミスター医師会」が、今回退職となりました。寂しい思いはありますが、離れていてもこれからも我々を叱咤激励していただくとともに、第2の人生を大いに謳歌していただければと思います。

長きにわたり医師会のためにご尽力いただき、本当にありがとうございました。心より心より感謝申し上げます。



事務局集合写真